

春の子ども祭り

春も間近、コミュニティふらっと本天沼で開催された「春の子ども祭り」は350人近い来場者で賑わいました。

入り口では苗木配布と焼き芋！

熱々の壺焼きの焼き芋は大人気でした。



1階では「おり紙遊び」と「缶バッジを作ろう」コーナー。

小さな子どもたちが熱心に折り紙を折っている様子が印象的でした。



缶バッジコーナーでは、好きな写真やイラストの上にシールを貼って持って来るなど、工夫を凝らして完成させた子どもたちがとても誇らしげでした。



駄菓子や桜餅の販売コーナーもあっという間に売り切れになりました。お金を貰い、自分で払ってお釣りを受け取るという経験をさせていたご家族もありました。



2階の「キャンディレイを作ろう」で作ったキャンディレイを髪に飾った子どもたちが、100歳のお雛様と写真を撮りました。大正12年に三越呉服店で購入され、太平洋戦争の空襲を逃れて受け継がれてきたお雛様です。



「つくしの人形劇」は「舌切り雀」。

2回の公演はどちらも満席で、会場に子どもたちの笑い声があふれました。

